

## 説明資料

### 核兵器廃絶平和都市宣言 30 周年記念 DVD「平和への願いを込めて」

本市では、昭和 57 年に「核兵器廃絶平和都市宣言」を行って以来、若い世代に戦争の悲惨さ、平和の尊さを伝えていくため、様々な活動を行っています。

平成 24 年度は、「核兵器廃絶平和都市宣言」30 周年にあたり、習志野市平和市民代表団の派遣の拡大（中学生 7 名、高校生 2 名、中学校教諭 1 名）、被爆体験講話の全市立中学校での実施に加えて、被爆体験講話 DVD の制作を行いました。

戦後 60 年を過ぎ、戦争体験者が年々少なくなっていく今日、戦争・被爆体験講話を通じて少しでも多くの若い世代に戦争や核兵器の恐ろしさ、平和の尊さを認識してもらおうと共に、平和意識を育むことを目的に、習志野市原爆被爆者の会のご協力により、被爆体験講話を記録した DVD を制作いたしました。

この DVD は、全市立中学校に配布するほか、協働まちづくり課及び大久保図書館にて貸し出しを行っています。また、この被爆体験講話を、習志野市ホームページから視聴できるようにいたしましたので、ぜひご覧ください。

### 習志野市ホームページ

<http://www.city.narashino.chiba.jp/joho/machidukuri/peacefulcity/050220130329184521171.html>

### 被爆体験講話 ～平和への願いを込めて～ 風化させてはいけない記憶

年月の経過とともに、戦争体験、被爆体験者が少なくなっています。同じ過ちを繰り返さないために、その記憶を風化させてはなりません。

多くの若い世代に戦争や被爆の恐ろしさ、平和の尊さを伝えていくため、習志野市原爆被爆者の会による被爆体験講話を紹介します。



青木 茂さん（習志野市原爆被爆者の会）  
20 歳のときに、爆心地（長崎）から約 2 キロメートルの住吉トンネル工場で勤務中に被爆



小野 英子さん（習志野市原爆被爆者の会）  
6 歳 2 カ月のときに、爆心地（広島）から約 1.5 キロにあった東観音町の自宅でお母様と被爆